

8月6日

岡山市こども園推進課 逢澤課長補佐に電話で進捗状況等を確認し、以下の通りの回答を得ました。

今の段階で、具体的な進捗は何もない。

市内に36のこども園を整備するという方針の中で、令和6年度中に、いずれかの方向性を決めることにはしている。

当初発表の折、概ね4年後には実現するだろうと話したのは、補助金を含めた実施の方向性が決まってから、4年後ということです。

国が補助金支給の要件に延べ床面積の縮小を求めているのは、2040年問題に人口減少があり、その対策として施設の縮小、職員の減員など今からその方向で手を打っていききたい為です。

そのため隣の学区、またその隣の学区まで範囲を広げての統合、または民営化などを検討している。

国の補助金交付の仕組みは、国が求める要件が整った段階で、経費の9割を市が借金しても良いという許可を国が出す。そして借金返済の過程で地方交付金として50%が支給される。

要望①の3階建ては、敷地面積が狭いなどの事情がない限り2階建てになる。3階建て以上になれば職員の負担が増えて園児に十分な対応ができ難くなる為です。

屋上への非難には支障のないようにする。屋根を付けたら3階建てになるのでそれは出来ない。

要望②の園庭を残す件は、建物建設工事中はほとんど撤去せざるを得ないが、その後確保できるかは設計の段階で相談したい。

今後なるべく連絡を密にしていきたい。

以上

井上